

おもちゃ病院 南国市にも 分院 きょうオープン



壊れたおもちゃを修理してくれる「おもちゃ病院南国」が5日、南国市大桶甲の「から

持ち込まれたおもちゃを点検、修理するおもちゃドクターたち（4月、高知市丸ノ内1丁目）

くり創造工房」に開院する。4月に高知市内でプレオープンしたおもちゃ病院が好評だったため、「分院」として開設することになった。関係者は「おもちゃをたくさん直して県東部の子どもを喜ばせたい」と意気込んでいる。

おもちゃ病院は、高齢者らによる「おもちゃドクター」が故障したおもちゃを直してくれる全国的なボランティア活動。高知市の病

院にはプレ開院以降、動かなくなった電車や音が出なくなった小型ピアノなどが次々と「入院」している。断線を修復したりカビを取り除いたりした結果、ほぼ100%が元通りになって子どもに返ったという。

評判が広まり、開院当初は1日に5件ほどだった修理依頼は徐々に増え、8月には18件と15件を受け付けた。これまでに修理したおもちゃは計100件以上。

事務局長の竹内博則さん(66)は「おもちゃが自分の手で直ることで体の達成感もすごいし、子どもが『やった、直っちゅう！』と喜ぶのがすごくうれし

い」と話す。

現在、県内で活動するドクターは24人。依頼件数に対して人員に余力があることから、東部地域在住のメンバーを中心に南国分院を立ち上げることにした。同分院の所長、野村弘さん(72)は「修理依頼はもちろん、自分でおもちゃを直せるようになりたいお父さんの見学も大歓迎」と張り切っている。

仮設だった高知市のおもちゃ病院も同市大原町の「NPO県生涯学習支援センター」に移転して、12日に「おもちゃ病院高知」として正式開院する。「高知」は毎月第2、4土曜日、「南国」は同じく第1、3土曜日に開院。問い合わせは高知おもちゃ病院(080・2990・3330)まで。

(竹内悠理菜)